▶報道・広報関係紹介（2007年度）

『内外教育』
（2007年10月16日）
・「学校教育改善ユニット」「院生と連携し、教師の授業力向上」（第23回時事通信社「教育奨励賞」努力賞受賞校③）京都市立高倉小学校

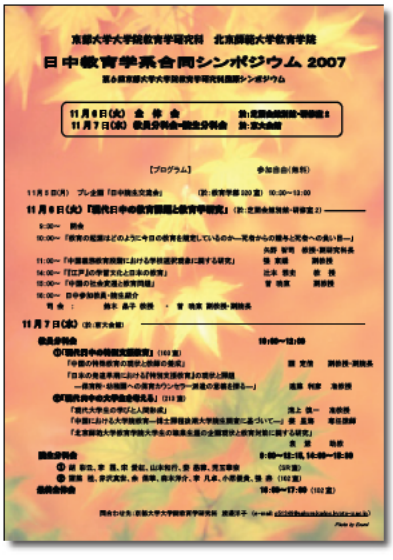
『課程研究』（中国教育学会、2007年第３期）
・2006年６月に中国・中央教育科学研究所で開催された日中合同会議のまとめ

▶報道・広報関係紹介（2007年度）

センター広報用ポスター

センター設立シンポジウムポスター

2007年度センター企画
公開シンポジウムポスター



2007年度日中教育学系
合同シンポジウムポスター

▶報道・広報関係紹介（2007年度）

教育空間創造ユニット「野殿・童仙房での生涯学習の取り組み」
広報誌「風と雲の便り」

第５号（2007年４月29日発行）

第６号（2007年７月15日発行）

第７号（2007年10月19日発行）

▶報道・広報関係紹介（2008年度）

2008年９月 「京大広報」No. 637

京大広報　2008.9　No. 637

教育実践コラボレーション・センター公開シンポジウム「日中韓の教育課程・教育評価改革の動向」を開催

教育実践コラボレーション・センター（2007年４月に教育学研究科に新設）による公開シンポジウム「日中韓の教育課程・教育評価改革の動向」が，７月31日（木）に芝蘭会館別館にて開催された。これは，昨年度の公開シンポジウム「日中の教育課程の動向」（2007年12月４日開催）を発展させたもので，日本，中国，そして韓国の教育課程及び教育評価の動向について，各国の改革の中心的メンバーによる報告が行われた。日本については，中央教育審議会委員として新学習指導要領（2008年３月告示）の改訂に携わった早稲田大学の安彦忠彦氏から，新しい学習指導要領の特徴や目指される学力像について報告がなされた。続いて中国・中央教育科学研究所の高峡氏からは，中国の教育課程を決定する「課程標準」の実施・改訂をめぐる動向について報告がなされた。そして韓国からは，ソウル大学教授の白淳根氏によって，韓国で国家的に進められている「遂行評価」を中心に教育課程・教育評価改革について報告された。同時期に進められている各国の改革についての報告からは，日中韓のそれぞれの改革の特色が明らかになったとともに，共通した方向性や課題が見出せた。またフロアからは，各国の取り組みにおける現実的な問題やこれからの方向性について多くの質問が集まり，議論がより深められた。

参加者数は約80人にのぼり，会場は満席状態であった。大学院生，大学教員，小中高の教職員の方々はもちろん，一般市民の方々や文部科学省の磯田文雄氏も参加され，盛況のうちに幕を閉じた。

（本事業の一部は京都大学教育研究振興財団より助成を受けました。）

公開シンポジウムの様子

（大学院教育学研究科）

2008年６月26日（木）「読売新聞」くらし 教育面、20面

[redacted]

2008年７月14日（月）「日本教育新聞」14面
2008年 夏の教育研究集会一覧

[redacted]

明治図書ONLINE 研究会情報
（http://www.meijitosho.co.jp/kenkyukai/）

[redacted]

2008年８月号
教育開発研究所『教職研修』、103頁

[redacted]

▶報道・広報関係紹介（2008年度）

「中国国際放送局」日本語部のサイト
（12月５日、http://jp.showchina.org/03/03/200812/t239495.htm）

「京都大と北京師範大、
教育学の学術交流深化で合意」

[redacted]

赤井悟監修、大阪府寝屋川市立田井小学校研修委員会 編著
『高い学力を育む授業研究』三学出版、2008年、44－46頁
「第２章　第５節　京都大学大学院教育学研究科
教育実践コラボレーション・センターとの連携」

[redacted]

▶報道・広報関係紹介（2008年度）

2008年度センター企画　公開シンポジウムポスター

2008年度　北京師範大学との
学術交流プログラムポスター

センター共催　第12回リカレント教育講座パンフレット

▶報道・広報関係紹介（2008年度）

教育空間創造ユニット「野殿・童仙房での生涯学習の取り組み」
広報誌「風と雲の便り」

第９号（2008年５月16日発行）

第10号（2008年７月23日発行）

第11号（2008年11月19日発行）

▶報道・広報関係紹介（2009年度）

2009年７月13日（月）　日本教育新聞13面「2009年　夏の教育研究集会一覧」

2009年７月30日（木）　京都新聞朝刊「まちかど」面

光村図書ONLINE研究会情報
(http://www.mitsumura-tosho.co.jp/Data/Kenkyu/)

明治図書ONLINE研究会情報
(http://www.meijitosho/kenkyukai/)

▶報道・広報関係紹介（2009年度）

教育実践コラボレーション・センター公開シンポジウム「日韓の教育改革の行方」を開催

2008年度の公開シンポジウム（「日中韓の教育課程・教育評価改革の動向」2008年７月31日開催）に引き続き，７月31日（金），芝蘭会館別館にて，大学院教育学研究科教育実践コラボレーション・センター主催（共催：日中教育共同研究センター，グローバルCOE「心が活きる教育のための国際的拠点」）の公開シンポジウム「日韓の教育改革の行方」が開催された。

まず，矢野智司教育学研究科長による開会の挨拶が行われ，続いて韓国・ソウル大学教授の白淳根（ペク・スングン）氏より「韓国における教育改革の動向」について報告がなされた。韓国における初等・中等教育および大学教育の改革，そして国家的な課題として人材育成に取り組む新しい動きについて，具体的なプロジェクトの紹介をもとに報告がなされた。次に，文部科学省研究振興局長の磯田文雄氏より「日本における教育改革の動向」について報告がなされた。戦後日本の教育改革の流れが，その根底にある経済原理や社会システムとどのように結び付けられ，展開してきたのかについて報告された。そして今後日本の教育改革が進むべき方向性や論点が示された。最後に，教育学研究科の西岡加名恵准教授から「日本における教育評価改革の動向」が報告された。近々改訂される指導要録について，2008年3月に告示された新学習指導要領における「活用」の位置づけや，「関心・意欲・態度」や総合評定の在り方をめぐる検討や提案がなされた。

これら三氏の報告によって，それぞれの国の事情や歴史の違いはあるにしろ，韓国，日本における教育改革の動向は，同じ方向性を持つことが明らかとなった。とりわけ基礎教育の徹底，基礎学力の向上や教育の平等，教育格差の是正などが21世紀の教育改革の重要な課題として挙げられた。また，教育改革の動向を語るとき，経済との関係を視野に入れることの重要性についても，両国の改革で共通する点であった。

本シンポジウムには，教育関係の研究者，小，中，高等学校の現職の教員，大学院生，一般の方々など約70名が参加し，会場はほぼ満席状態となった。参加者が熱心に報告に耳を傾ける姿が見られ，各報告にも多くの質問が寄せられた。こうして，本シンポジウムは盛況のうちに幕を閉じた。

公開シンポジウムの様子

（大学院教育学研究科）

京大広報
（No.648　2009年９月号）

京都大学

Kyoto University

イベントカレンダー　刊行物・資料請求　お問合せ　アクセス・マップ　サイトマップ　リンク

現在の場所: ホーム » 総合 » お知らせ

ホーム
総合トップ
大学紹介
運営・将来構想
諸規程
情報公開
環境への取組
人権
男女共同参画
安全への取組
関連情報
採用情報
教育トップ
研究トップ
学部・大学院
研究所・教育研究施設
全学機構

公開シンポジウム「日韓の教育改革の動向」を開催しました。（2009年7月31日）

2008年度の公開シンポジウム（「日中韓の教育課程・教育評価改革の動向」2008年7月31日開催）に引き続き、このたび、芝蘭会館別館にて、京都大学大学院教育学研究科教育実践コラボレーション・センター主催（共催：日中教育共同研究センター、グローバルCOE「心が活きる教育のための国際的拠点」）の公開シンポジウム「日韓の教育改革の動向」を開催しました。

まず、矢野智司 教育学研究科長の開会の挨拶があり、続いて白淳根（ペク・スングン）韓国・ソウル大学教授より「韓国における教育改革の動向」についての報告がありました。白教授から、韓国における初等・中等教育および大学教育の改革、そして国家的な課題として人材育成に取り組む新しい動きについて、具体的なプロジェクトの紹介をもとに報告されました。次に、磯田文雄 文部科学省研究振興局長より、「日本における教育改革の動向」について報告されました。磯田局長は、戦後日本の教育改革の流れが、その根底にある経済原理や社会システムとどのように結び付けられ、展開されてきたのかについて説明されました。そして今後日本の教育改革が進むべき方向性や論点が示されました。最後に、西岡加名恵 教育学研究科准教授によって「日本における教育評価改革の動向」が報告されました。近々改訂される指導要録について、2008年3月に告示された新学習指導要領における「活用」の位置づけや、「関心・意欲・態度」や総合評定の在り方をめぐる検討や提案がされました。

これら3氏の報告によって、それぞれの国の事情や歴史の違いはあるものの、韓国、日本における教育改革の動向は同じ方向性を持つことが明らかとなりました。とりわけ基礎教育の徹底、基礎学力の向上や教育の平等、教育格差の是正などが21世紀の教育改革の重要な課題として挙げられました。また、教育改革の動向を語るとき、経済との関係を視野に入れることの重要性についても、両国の改革で共通する点でした。

本シンポジウムには、教育関係の研究者、小、中、高等学校の現職の教員、大学院生、一般の方々など約70名が参加し、会場はほぼ満席となりました。参加者が熱心に報告に耳を傾ける姿が見られ、また、多くの質問が寄せられました。こうして、本シンポジウムは盛況のうちに幕を閉じました。

報告する白教授とほぼ満席の会場の様子

京都大学
ホームページに掲載

(http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/news_data/h/h1/news7/2009/090731_1.htm)

▶報道・広報関係紹介（2009年度）

2009年度センター企画　公開シンポジウムポスター

2009年度　センター企画
「学校を問い直す」シンポジウムポスター

センター共催　第13回リカレント教育講座パンフレット

▶報道・広報関係紹介（2009年度）

教育空間創造ユニット「野殿・童仙房での生涯学習の取り組み」

2009年７月25日（土）　京都新聞（夕刊）９面

第４回「風と雲の広場」パンフレット

〈座談会〉学ぶ原理パンフレット

▶報道・広報関係紹介（2010年度）

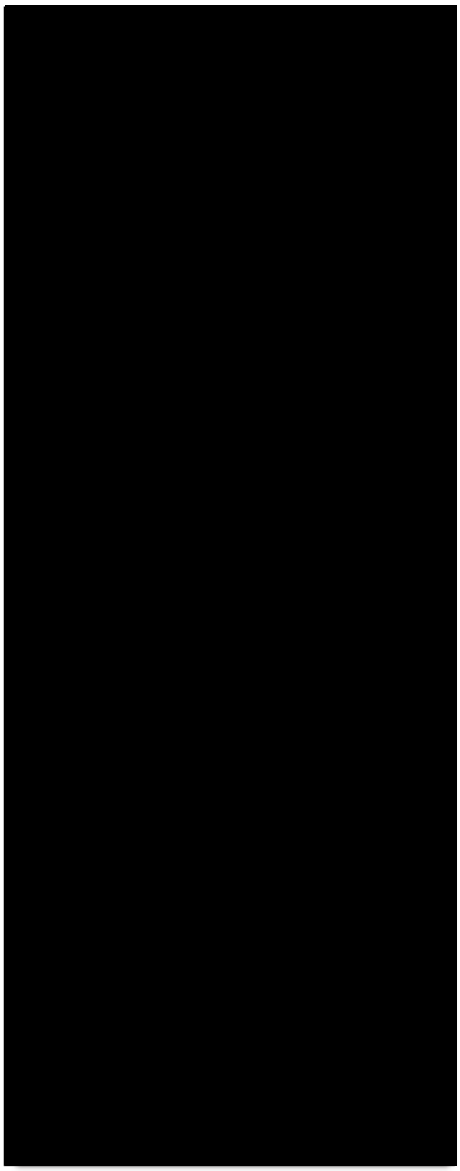
2010年度センター企画公開シンポジウム
「中国の教育改革構想—これからの十年」ポスター

2010年度センター企画公開シンポジウム
「子育ての危機に迫る」ポスター

2010年度センター共催企画
第14回リカレント教育講座　チラシ

2010年度センター主催　E. FORUM
全国スクールリーダー育成研修　チラシ

▶報道・広報関係紹介（2010年度）



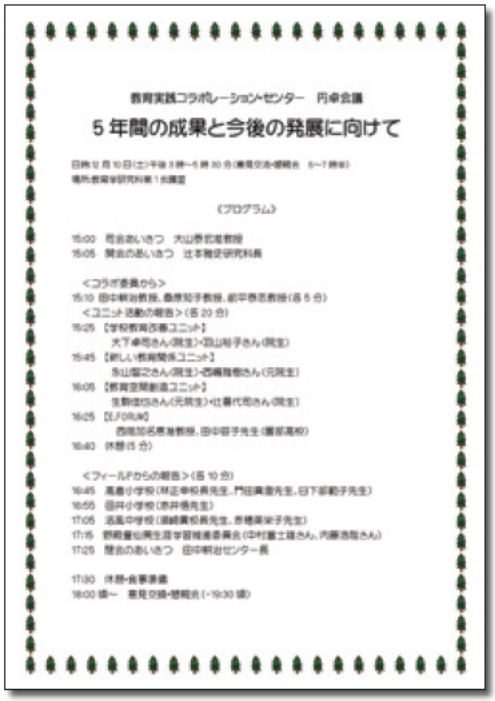
『中国教育報』
2010年４月６日（火）４面
『21世紀日本の教育改革』
出版記念シンポ（北京）

京都大学・北京師範大学
学術交流活動　チラシ

朝日新聞　京都版（南京都）
2010年７月22日（木）朝刊23面

▶報道・広報関係紹介（2011年度）

2011年度センター企画　公開シンポジウムポスター


教育実践コラボレーション・センター　円卓会議
5年間の成果と今後の発展に向けて

（プログラム）

15:00　司会あいさつ　大山泰宏准教授
15:05　開会のあいさつ　辻本雅史研究科長

＜コラボ委員から＞
15:10　田中輝治教授、桑原知子教授、前平泰志教授（各5分）
＜ユニット活動の報告＞（各20分）
15:25　【学校教育改善ユニット】
大下卓司さん（院生）・四山知子さん（院生）
15:45　【新しい教育関係ユニット】
多山智之さん（院生）・西嶋雅樹さん（元院生）
16:05　【教育空間創造ユニット】
生駒俊樹さん（元院生）・辻喜代司さん（院生）
16:25　【ディスカッション】
西岡加名恵准教授、田中容子先生（園部高校）
16:40　休憩（5分）

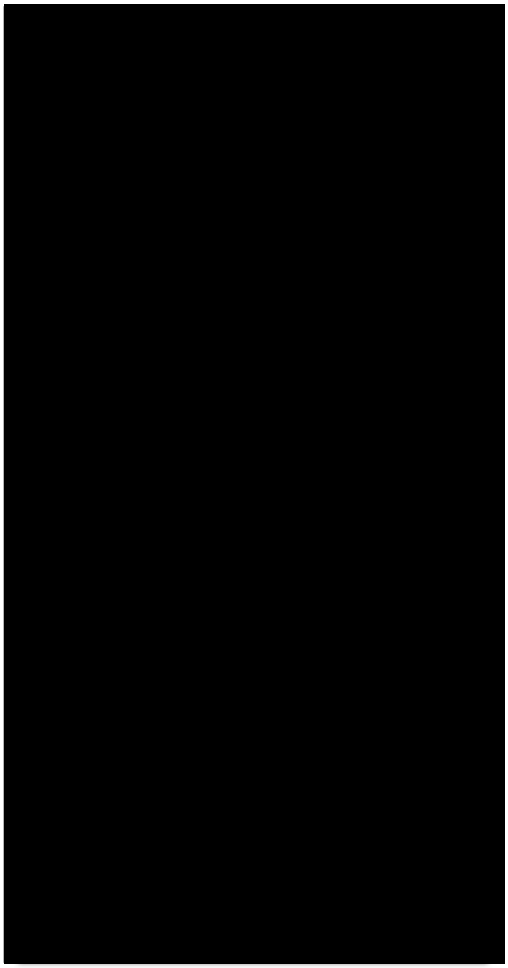
＜フィールドからの報告＞（各10分）
16:45　高倉小学校（林正幸校長先生、門田眞澄先生、日下節子先生）
16:55　田井小学校（赤井信先生）
17:05　浜風中学校（須崎實校長先生、恩地英幸子先生）
17:15　京都養護教育学習推進委員会（中村富士雄さん、内藤浩昭さん）
17:25　閉会のあいさつ　田中明治センター長

17:30　休憩・食事準備
18:00 頃～　意見交換・懇親会（～19:30 頃）

教育実践コラボレーション・センター主催
円卓会議　案内

▶報道・広報関係紹介（2011年度）

2011年度センター主催　E. FORUM
全国スクールリーダー育成研修　パンフレット

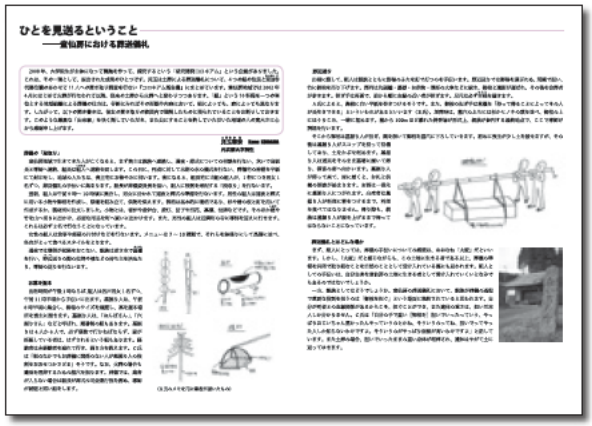


和歌山県教育委員会との連携協定
（和歌山県教育委員会ウェブサイトより）

2011年度センター共催企画
第15回リカレント教育講座　チラシ

▶報道・広報関係紹介（2011年度）

教育空間創造ユニット「野殿・童仙房での生涯学習の取り組み」
広報誌「風と雲の便り」



第13号（2010年３月10日発行）

第14号（2010年３月10日発行）

第15号（2011年３月10日発行）

Center for Collaboration in Innovation and Educational Practice

▶報道・広報関係紹介（2011年度）

第16号（2011年３月20日発行）

第17号（2011年３月31日発行）

水曜ひろば　チラシ

第６回風と雲の広場　チラシ

防災のつどい　チラシ